

講義名称	コミュニケーション論	担当教員名	久林 純子
科目群	社会科学 (SOC)		
科目区分等	キャリア	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	SC0168

授業のキーワード	コミュニケーションとは何か？自己と他者の人間形成には何が必要が考えます。
授業の概要	言語を必要とするコミュニケーションと非言語コミュニケーション。ともに必要なマインドやフィジカル、スキルや知識を多方面からアプローチします。
期待される学習成果 (目標)	表面的な会話に終始しない「深い」コミュニケーション力について理解し、毎日の生活で活用し、意識を高くもてるようになることを目指します。。自らの人間関係の構築に役立てるようになるのが望ましい。

授業展開

回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	コミュニケーションとは何か、動機付けについて紹介します。マズローの5段階欲求を使います。
2	コミュニケーションの基礎知識 1	自己紹介と他己紹介を行い伝達と承認についてズレを考えます。
3	コミュニケーションの基礎知識 2	言語、非言語コミュニケーションをメラビアンの法則を踏まえて考えます。
4	コミュニケーションの基礎知識 3	傾聴について考えトレーニングしてみます。
5	印象形成	日本語の特徴を知り、伝わる声や姿、話し方について実践します。
6	言語伝達 1	聴覚からの情報を、視覚に落とし込んで提示するのに必要な「流れ星」のワークを行います。
7	言語伝達 2	「図形伝承」のワークをおこなう。グループごとに分け、意見交換をし発表します。
8	パブリックスピーキング 1	公の場での会話。話し方のルールを学ぶ。声のタイプとレッスンについて実践します。
9	パブリックスピーキング 2	名詞交換の作法や敬語について学びます。
10	コミュニケーションの応用 1	アサーションを取り入れたコミュニケーションについて学びます。
11	コミュニケーションの応用 2	自分の考え方や行動のタイプを知り、それによつての伝達・対応の違いを考えてみます。
12	事例考察 1	主語表現の違いによるコミュニケーションの差異について考えます。
13	事例考察 2	2018年の新語流行語大賞の言葉とSNSコミュニケーションなども考察します。
14	教養とコミュニケーション	日本語の持つ響き特にオノマトペを意識しながら作品を音読し、それを感じます。
15	まとめ	講義を通してコミュニケーションとは何か、グループディスカッションし交流分析します。

定期試験	あり。 講義内容を踏まえての筆記試験。
授業時間外学習	参考文献等を積極的に読み進めることが望ましい。
評価方法	提出物課題40%、定期試験60%
使用する教科書 (必ず購入してください)	講師作成資料を使用
参考文献	講義中に指示